

## 平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月27日（金）午後7時～午後8時55分
□会 場	大古根公民館
□参加者	町側10人、地区側34人

### 1. 町民憲章唱和

### 2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

### 3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

#### ①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）ふれあい訪問をボランティアとして行っています。訪問人数は23～24人ぐらいですが、実際に訪問しなければいけない人数はもっといます。募集はチラシ等を使っていますが、なかなか訪問してほしいと言われる方はいません。サロンについてもボランティアが主体で老人和楽会が協賛しています。これについてはいい結果が出ていると思います。サロンは年齢制限をしていないので、子どもも自由に来てもらって、若い人とも触れ合って、若い人のエネルギーをもらっています。サロンとしてはうまくいっています。ふれあい訪問は、民生委員から一人暮らしで少しチェックや訪問してほしい人などをピックアップしてもらい訪問しています。このふれあい訪問をもう少し広めて、訪問を増やすにはどうしたらいいのか、良い方法があったら教えてください。（大古根）

答）大古根さんは最初の活動は訪問活動から始まって、地域の人とのつながりを作ってからサロン活動を始められたと聞きました。宮津さんも、訪問活動は高齢者だけとなっています。少し話題は変わりますが、宅老はなかなか男性の方が来られないので、その男性が来やすいサロンを作ろうと宮津さんが立ち上げました。おそらく大古根さんもそういった形で男性も参加しやすいサロンという形で立ち上げて、年齢制限のない子どもからお年寄りまで誰でも関わるサロンができたのは大事だと思います。訪問活動についても、実際は31人いますが、中には65歳以上でも若い方がいらっしゃるので、顔をつなぐことが非常に大事です。何かあったときにあの人だと顔が浮かぶつながりを持つことが大事です。少しずつでも輪が広がるよう頑張ってください。（民生部長）

質問（2）高齢者の位置付けについて、今の認識が違っているかもしれませんが、いきいきクラブでは60歳になったら会に入ろうというところが多いが、なかなか入ってもらえないのが現実です。資料では65歳以上で高齢化率が計算されています。今は130歳時

代と言われ、60歳や65歳もまだ若造になってしまいます。高齢者の役割や働き場所を、個人的にでも役割を持ってもらえるように、その一つとして、子どもを守る、地域文化を守るというような活動、例えば、いきいきクラブなど興味のある人に委嘱して、そういうことで地域とのつながりを持つようにしたらどうかと思います。高岡の宅老所は老老介護と一緒に、受ける方もやる方も65歳以上70歳、80歳、そういう現状を抜本的に見直すときです。始めてから12、3年経ちますがそういう時代になってきています。だから、高齢者の位置付けや役割をもう少し明確にして、皆さん方をお願いしていくのが必要だと思います。宅老所や見守りなど、そういう人たちの力を借りて進められている現状を、今一度見直して、次のステップへ進んでいくことが必要ではないかと思います。（高岡）

答) 地域の見守り、非常にうれしく思います。宅老所は利用する方も世話をする方も年齢がどんどん上がってきています。それも大変なことです。高齢介護というのかもしれませんが、利用する方もそれなりの方たちですので、お世話人さんも世話をしなければいけないという義務感から、本人たちの介護予防にもなっています。体を動かし、頭を使うことで本人たちにとっての介護予防の一つになっています。これはこれで大事なことと思っています。また、担い手をこれから見つけることが一番の課題となっています。これからも地域で語らいの場を設けていただければ、いつでも出向いてお話しし、協力していきます。（民生部長）

関連意見) いきいきクラブに高齢者の加入問題を任せるのではなく、行政としても、これからのまちづくりの中で、高齢者の役割をしっかりとしながら、だからこの活動に参加しようというようなところを大事にしてほしいです。（高岡）

質問(3) 大古根の小地域福祉活動のふれあい活動の一環として訪問活動をさせていただいております。民生委員さんを頭にして10人ぐらいのメンバーで、何班にも分かれて月1回ですが、声が出た方を対象にして訪問させていただいています。民生部長がお話しされましたように、現状のさまざまな内容のこと、国や県から下りてきたものを、町内や各地域へ下ろさせていただいている活動が多い。高齢な方々を、60代や70代初めの方々が見守りやお世話などしています。どんどん高齢化率が高くなっていることや、少子化のことで反比例が起きてきます。部長が言われたように、継続することに対しての人選と後継者育成が、どの地区でも大変になってきています。ボランティアでやっていただいている皆さん方が、一つの形として、ここまでいったらいいのではないかという、一つずつの何か合格点のような、見極める先がないと、いつまでそれをやるんだという現実があると思います。行政としてバトンタッチができれば、継続してやっていただくことが可能だと思いますが、2025年までがピークですが、ピークを超えればある程度また違う時代になると思います。長寿社会ですので、そういった方のお世話が、元気で他の方の手のかからない状態で全うできれば一番いいですが、地元のボランティアでされている方以外に、行政として方向性を何か導いていただけたら、奉仕活動の方も何とか頑張れると思いますが、お答えください。（大古根）

答) 後継者を探すのは大変ご苦労なことです。これという答えはありません。地域の関係者に集まってもらい、語り合うことです。私どもだけでなく社会福祉協議会も一緒になって、そういう場を設けていただければ、何かアドバイスができると思います。情報提供、いろんな情報を持っていますが、すぐに答えは出ません。地域で語り合って、何か糸口を見つける、そこから始まるかと思しますので、またそういった場を作っていただければ、私どもも赴いて協力いたしますのでよろしくお願いします。(民生部長)

## ②ゴミの減量化

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 確認ですが、生ゴミの収集所は、うちの方は火曜日と金曜日にやっていますが、普通の家庭の生ゴミだけではなくて、例えば庭木を剪定したものが束で出ていたり、草刈機で刈った草が袋にたくさん入っていると、これらのものは他に処理する場所や方法がないので、そこで処分するのはいいことなのですか。(高岡)

答) ゴミとして出すことは、処分させていただきますので構いませんが、草などはそのまま生で出していただくとかなりの重さになります。できましたら2~3日乾燥させて、それを袋に入れて出していただくと、グラムの的には大いに減っていくのではないかと思います。そういうゴミについても、生活ゴミとして処分させていただいている状況です。(建設経済部長)

質問(2) 先ほどの方法は好ましい方法ということで、町でこうしてくださいというような処分方法がないのですか。例えば、他の町では、草刈機で刈った草は土手で燃やしてしまったりする事例をこちらで見ますが、そういうことを阿久比町としては、温暖化で好ましくないという認識ですか。(高岡)

答) そのとおりです。燃やしていただくと煙が出て、近所の人から役場へ、「あそこでゴミを燃やしているけどいいのか」とかなり電話が来ます。燃やしていただくよりはゴミとして捨てていただくか、乾燥させて堆肥化をしていただきたいと思います。たとえば、庭で乾燥させると一気に量が減ります。それをためておいて堆肥として利用していただけるとありがたいと思います。(建設経済部長)

質問(3) 焼却炉の使用というのはどうなっているのですか。設置するには一定の基準があるのですか。(高岡)

答) 市販されている焼却炉のほとんどは違法なものになります。結構な熱量でないと、ダイオキシンの関係がありますので。市販されているものでも工業用など専門の炉ならいいかもしれませんが、一千万円単位の高額なものになりますので、個人で買われる方は、まずいないと思います。一般の焼却炉として買われてくるものは、基本的には違反となりま

すので、よろしくお願いします。（建設経済部長）

情報確認) どの地区へ行っても一番問題になっているのは、刈った後の草を黄色いゴミ袋に入れて出すと、かなりの量になることです。そのことについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。ということで、今回のテーマとなっていますが、大字さんはどうですか。他の地区で農地などが多いところは、農地へ持って行って堆肥化すると、かなり腐葉土になるということを知っています。行政と地区が協働しあえば、草を刈ったゴミを少なくすることができます。これが少なくなれば、かなり数値も下がるような気がします。区長さんたち、何かいい案はありませんか。（町長）

答) 確かに、家庭から出た草木の剪定ゴミを個人で処分するというのは困ってしまいます。大古根は盆前に神社清掃をします。そのときは各家庭の草木の剪定ゴミも一緒にアグメントに依頼して処分してもらいます。今言われたように、家庭から出た剪定ゴミを個人で処分するように言われても、捨てる場所がないので行政で処分してほしい。先ほど言われたように、ゴミを生で出すより乾燥させて出すほうが、体積が減っていいのではないかと思います。しかし、今すぐどうにかするというものではなくて、町のほうで回収していただかないと、各家庭では困ってしまうのではないかと思います。（大古根区長）

関連質問) 困っていることは事実で、家庭ばかりではなく地区に、都市公園など公園維持費を出していますが、年1回ということでは、なかなか綺麗にならないということです。かなりの人的資源を地区から提供していただいています。そこで刈ったものを公園維持費を使って何とかしてほしいといっても、かなりの金額になりますので、そのあたりも行政は考えていかなければいけないと思っています。植の場合について区長さんにお話を伺います。（町長）

答) 植の場合は、草木等を寝かせる場所があります。今度、池の周りの草刈りをしますが、そのままそこへ置いておけば次の時まで草は伸びないし、家庭用についてはどこかにそういう場所を作らなければなりません。しかも、その場所へ持って行くことが大変だと思います。そういうふうになれば腐葉土になると思います。菊などでも、神社の葉っぱを腐葉土にしてやっています。家庭用になると、どこか可能な場所を作らなければならないと思います。（植区長）

答) 高岡の場合、捨てる場所はありません。区会などや、神社や氏子が伐採したものについては、ある程度乾燥させた後に焼却するか、どこかで堆肥化させるかです。各家庭となると、処理に困るので、袋に入れてゴミに出すこととなります。それについて字で何か対応することは難しいと思います。後は行政と相談して何かできるなら協力します。（高岡区長）

質問(4) 先ほどの近隣市町の状況の説明がありましたが、ゴミの減量が進んでいるのが武豊町で、毎年減っているというデータ上のお話がありました。武豊町が取り組んでいる

事例とか何か聞いていれば、聞かせてほしいです。これだけ減ってくるのはすごいと思います。（植）

答) すいません。データを持っておりません。一度武豊町に確認して、よい方法でもあれば、また皆さんにPRさせていただきますので、よろしくお願いします。（建設経済部長）

#### 4. 参加者との懇談

##### 《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問（１）第５次総合計画の基本目標第４節に掲げられています、「人を育てる教育・文化のまち」を実現するために、阿久比町の伝統文化、歴史を現時点でまとめ、後世に語り継がれるようなことについて考えがあるのかお尋ねをいたします。

阿久比町には、多くの先人たちが築いてくれた文化があります。日々の生活の中で生まれ育った生活があります。阿久比町の歴史の中でこれらのことをしっかりと留め、語りつないでいくことを考えてくれませんか。（高岡）

答) 総合計画の中で、「人を育てる教育・文化のまち」を実現するためにということで、今、現在やれることを考えてくれということですが、現在阿久比町には、愛知県の指定になっている文化財で有形文化財として平泉寺の不動明王立像を始め４つの美術工芸品、無形民俗文化財として阿久比谷虫供養、また史跡として板山の長根古窯があります。阿久比町が指定している文化財には、有形文化財として正盛院の仁王門と洞雲院の十六羅漢図を始め１４の美術工芸品と山車を始めとする７つの有形民俗文化財、また二子塚古墳など３つの史跡と天然記念物になります宮津熱田社の楠があります。また、平成２４年１２月にはこの大古根地区にあります蓮慶寺の本堂、山門、土塀が国の登録有形文化財に指定されました。このように多くの文化財があり、文化を支えた人物もたくさんいると思います。阿久比町の伝統文化歴史については、以前にまとめた物としまして、「あぐいのあゆみ」という冊子があります。これは平成６年１１月に発行され、２０年が過ぎておりますので、どこかでこれを更新する必要があると考えております。現時点でまとめることにつきましては、はっきりとは言えませんが、虫供養につきましては、今年度に住民税１％町民予算枠制度のわくわくアイデア事業で阿久比谷虫供養リーフレットというものを作成し、今年の虫供養までに作成することになっております。また知多市町会が知多管内の学校の先生、生徒に知多半島で活躍した偉人の方を知ってもらおうと、平成２８年２月に「知多半島偉人図鑑」という副読本のようなものを作りました。ここには知多半島の産業や文化や教育で活躍しました偉人が載っており、阿久比町からは、知多四国八十八カ所を開きました岡戸半蔵氏と都築紡績を築いた都築良平氏が掲載されています。こういったものを利用して、町民や子どもたちに伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。（教育部長）

関連質問) 南部小学校の４・５・６年生に「阿久比の昔話」を読み聞かせしています。この内容を低学年に向けて紙芝居化ということ、例えば町制７０周年に編集できるように

今から準備してもらったり、お寺や神社にある教育委員会の掲示板などを、今一度、文章を見直していただいて、町民にこういったものがあるということを伝えたりできないか、検討してほしいです。(高岡)

答)「阿久比の昔話」という本は大変良い本ですが、低学年には内容的に難しいかもしれません。これを低学年用にできるか検討していきたいです。神社などに掲げてある説明の文章も、現状を確認しながら、皆さんが分かるように考えていきたいです。(教育部長)

意見)大古根の和楽会で天ぷらなどで使った油で、それを明かりの燃料として使ったり、鍋の火に使ってお湯を沸かしたりすることもできました。地震の時などに利用できるのではないかと思うので、防災訓練の時などに練習して、本当の地震が来た時に使えるようにしてはどうでしょうか。(大古根)

答)大変貴重なご提案をありがとうございます。避難所の宿泊体験をした時に、防災ボランティアの方に、サラダオイルでろうそくのようなことをやらせていただきました。非常時には明かりがないと大変不自由です。そういうやり方を是非教えていただいてPRしていきたいと思います。ありがとうございました。(総務部長)

要望)ゴミステーションをコラボ事業でカーテン式の使いやすいものに改良していただいてありがたいと思っております。生ゴミは植では火曜日と金曜日の当日8時までに出していますが、カラスが非常に増えて困っています。町で年2回駆除をしていると思いますが、どれくらい駆除が進んでいるのか、カラスは頭が良いので手に負えないのか教えてください。またカラス対策をお願いします。(植)

答)年2回駆除しています。1回に5日間ほど有害鳥獣駆除をしています。カラスも頭が良いので、1回で25、26羽しか撃てませんので、たくさん捕れません。これからも継続していきますが、鉄砲を撃つ人も高齢化が進んでいて、難しくなっています。(建設経済部長)

質問(3)いきいきクラブの役員を探すのが大変です。50人で1クラブですが、それを見直していただくと助かります。しかし、役員数が減っても助成金が減らされるのは困ります。役員が減っても助成金が下がらないようになると助かります。(大古根)

答)老人クラブに町として補助金を出しています。皆さん会員確保にご苦労されています。社会福祉協議会に、こういう問題が出ていると提起して検討することもありますのでお願いします。(民生部長)

質問(4)一ノ草病院の道から日産への道ができると言われていますが、どうなっていますか。(植)

答) 議会の一般質問でもお答えしておりますが、この道路は県の事業でして、日産の交差点、名鉄電車、阿久比川を渡っており、また非常に名鉄電車と交差点の距離が近いことがあります。交差方法について、いろいろ県の方で検討しています。阿久比町としては、名鉄の下をくぐり、平面で交差する方法を要望しております。名鉄をくぐるのは、もともと低いところで、ちょっと大雨が降ると溢れるようなところなので、名鉄をくぐるのに、アピタのように土地を掘り下げて道路を作ることになり、県道になると県の方も後々の管理費用のことを考えると名鉄を上げたほうがいいのかいろいろ考えているところなので、まだしばらく時間がかかりそうです。町の方も毎年、早期に着手していただけるよう要望しておりますので、今しばらくお待ちください。(建設経済部長)

告知) 現在中日新聞主催でJIMOキャラ、東海3県の市町村が持っているキャラクターの投票が今行われております。今アグピーがこれに参加しております。皆様のご協力で少しでも順位を上げていきたいと思っております。知多半島で唯一アグピーだけが出場しておりますので、知多半島中の皆さんでアグピーに投票していただければ、去年は51体中23位の真ん中より若干上でしたが、今年は東海3県で43体ですので、去年の23位では若干不服であります。20位以内は当然のこと、できれば一桁台になるように頑張ってお応援していただきたい。皆さんにご協力いただきますようお願いいたします。(建設経済部長)

意見) 先ほどの道路の話は、部長さんからの話は町議会の一般質問のところで言われていることと、少し違うようなイメージがありますので、これは本当のことを町民の皆さんに説明すべきことではないかという気がします。どちらがどうか私には分かりませんが、よろしく願います。(高岡)

## 6. 閉会あいさつ

皆さん大変お疲れ様でした。冒頭に申しましたように、今年から少し方法を変えましてテーマを決めての懇談会を実施させていただきました。今回の2件のテーマにつきましては、一番身近で一番大事な事業でありますけど、実施するにはいろいろ難しいところがございます。特に初めにしました高齢者と地域のつながりにつきましては、それぞれの地域において福祉事業ができるのか、これからも行政と地区と連絡を密にして、地域の福祉の事業向上に努めていきたいと思っておりますので、よろしく願います。それでは時間になりましたので、以上で終了させていただきます。今日はどうもお疲れ様でした。ありがとうございました。(副町長)